

---

## 資料編

---

# 1. 調査票

## ①消費世帯調査(平日用・休日用)

### ●世帯情報●

●世帯全体についてお答えください。  
太枠内をのりなくご記入ください。また、あてはまるものに一つ○をつけてください。

(フリガナ) 世帯主名					
性別	1.男	2.女	年齢	歳	
世帯で主な収入を得ている方の職業形態	1.勤め人(会社員、公務員、教職員、パート、アルバイト等) 2.自営業(専業主婦、農林漁業含む) 3.学生 4.無職(年金受給を含む)				
農林漁業の従事の有無	1.専業主婦 2.農業者以上の専業主婦 3.農業者以上の専業主婦 4.家庭作業のみ 5.漁業 6.林業 7.農林漁業に従事していない				
世帯員の人数	人				
世帯形態	1.単身世帯 2.夫婦のみの世帯 3.核家族世帯(親子) 4.2世代世帯(親夫婦+子夫婦) 5.3世代以上の世帯(祖父母と夫婦と子ども)				
世帯の中で主に食料の買い物をする人	名簿		世帯主との関係(親類)		
	性別	1.男	2.女	年齢	歳
※調査票のお問い合わせ電話番号					

※調査票(本用紙)に関するお問い合わせの電話番号です。世帯主以外の方でも、携帯電話でもかまいません。恐れ入りますが、ご記入をお願いします。

### 地産地消に関する消費世帯調査票

平日用

「地産地消に関する消費世帯調査」では、平日と休日に分けた2日間、世帯全員の飲食したものを全てを記入していただくことにより、県内で消費される食材の種類と量を調査いたします。

**記入上の注意および届出について**

【重要】  
●原則として、食卓にあがった分の料理、食品を記入するようにしてください。  
●食材は産地別の記入が必要です。食材購入の際は、産地の確認をお願いします。

○「地産地消に関する消費世帯調査票の書き方」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。  
○日枠内をご記入ください。アミカケ部分は何も記入しなくても構いません。  
○この調査票は「平日用」です。休日は「休日用」の調査票にお書きください。  
○「世帯情報」も合わせてご記入ください。  
○記入方法についてわからないことがありましたら、調査員に質問してください。  
○ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。郵送等は受け付けておりません。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって分かった食生活の内情などの秘密保持については、必ず厳守いたします。

【調査実施機関】 株式会社ライトスタッフ  
【お問い合わせ先】 〒910-0019 福井市青山1丁目1-14 福井新聞くら通りビル3F  
TEL:0776-25-7201  
【調査委託元】 福井県農林水産部販売開拓課  
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
TEL:0776-20-0421

調査の種類	夏・秋・冬	市町番号	区分	調査員氏名	電話番号	届出単位番号
			1.海浜部 2.山間部 3.その他			

## 平日朝食

月 日 ( )

記入者

### 家庭食

料理名	食品名	数量	産地別	入手先	調理した食べ残し (%)
	食品コード	単位	1.県内 2.県外 3.惣菜 4.不明 調査票記入欄参照(別紙)	1.スーパー (食品名) 2.食品店 (食品名) 3.商店 専門店 (食品名) 4.惣菜店 (食品名) 5.コンビニ (食品名) 6.調理場 (食品名) 7.もたらした物 (おすそ分け等) 8.その他 (食品名)	食品コード

料理名	食品名	数量	産地別	入手先	調理した食べ残し (%)
	食品コード	単位	1.県内 2.県外 3.惣菜 4.不明 調査票記入欄参照(別紙)	1.スーパー (食品名) 2.食品店 (食品名) 3.商店 専門店 (食品名) 4.惣菜店 (食品名) 5.コンビニ (食品名) 6.調理場 (食品名) 7.もたらした物 (おすそ分け等) 8.その他 (食品名)	食品コード

### 外食

料理名	入手先、店名	食品コード	料理、購入食品名	数量	金額 (円)

平日  
昼食

月 日( )

記入者

家庭食

料理名	食品名	数量	産地別	入手先	農産した 食べ残し (%)
	食品コード ①	単位		1. スーパー (農産名) 2. 生協、農協 (農産名) 3. 商店、専門店 (農産名) 4. 量販店 (農産名) 5. コンプレ (農産名) 6. 直売場等 (農産名) 7. もらったもの (おすそ分け等) (農産名) 8. その他 (農産名)	食品コード ②
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%

料理名	食品名	数量	産地別	入手先	農産した 食べ残し (%)
	食品コード ①	単位		1. スーパー (農産名) 2. 生協、農協 (農産名) 3. 商店、専門店 (農産名) 4. 量販店 (農産名) 5. コンプレ (農産名) 6. 直売場等 (農産名) 7. もらったもの (おすそ分け等) (農産名) 8. その他 (農産名)	食品コード ②
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%

外食

料理コード ①	入手先、店名	料理、購入食品名	数量	金額 (円)

平日  
夕食

月 日( )

記入者

家庭食

料理名	食品名	数量	産地別	入手先	農産した 食べ残し (%)
	食品コード ①	単位		1. スーパー (農産名) 2. 生協、農協 (農産名) 3. 商店、専門店 (農産名) 4. 量販店 (農産名) 5. コンプレ (農産名) 6. 直売場等 (農産名) 7. もらったもの (おすそ分け等) (農産名) 8. その他 (農産名)	食品コード ②
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%

料理名	食品名	数量	産地別	入手先	農産した 食べ残し (%)
	食品コード ①	単位		1. スーパー (農産名) 2. 生協、農協 (農産名) 3. 商店、専門店 (農産名) 4. 量販店 (農産名) 5. コンプレ (農産名) 6. 直売場等 (農産名) 7. もらったもの (おすそ分け等) (農産名) 8. その他 (農産名)	食品コード ②
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%
					%

外食

料理コード ①	入手先、店名	料理、購入食品名	数量	金額 (円)

②農業(家庭菜園含む)アンケート

**●世帯情報●**

●世帯全体についてお答えください。  
太字内をもちろんご記入ください。また、あてはまるもの一つ○をつけてください。

(フリガナ) 世帯主名							
性別	1. 男	2. 女	年齢	歳			
世帯で主な収入を 得ている方の職業形態	1. 業人(会社員、公務員、教職員、パート・アルバイト 等) 2. 自営業(専業農家、農林漁業含む) 3. 学生 4. 無職(年金受給を含む)						
農林漁業の 従事の有無	1. 専業農家 2. 農家が主の兼業農家 3. 農家が従の兼業農家 4. 家庭菜園のみ 5. 漁業 6. 林業 7. 農林漁業に従事していない						
世帯員人数	人						
世帯形態	1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 核家族世帯(親子) 4. 2世代世帯(親夫婦+子夫婦) 5. 3世代以上の世帯(祖父母と夫婦と子ども)						
世帯の中で主に 食事の買い物をする人	名前	性別	1. 男	2. 女	年齢	歳	世帯主との関係 (続柄)
※ 調査票のお問い合わせ 電話番号							

※調査票(本用紙)に関するお問い合わせの電話番号です。世帯主以外の方も、携帯電話でもかまいません。  
お入れしますが、ご記入をお願いします。

**農業(家庭菜園を含む)アンケート**

「農業(家庭菜園を含む)アンケート」では、家庭での作付の有無、規模、  
昨年1年別(平成20年1月～12月)の収穫額と消費・出荷先をお聞きすることにより、  
「消費世帯調査」と合わせて、県内で消費される食材の種類と量の実態をさらに詳しく調査いたします。

**記入上の注意および提出について**

○裏面の「調査票の書き方-記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。  
○自筆内をご記入ください。フリガナ部分は何れも記入しないでください。  
○記入方法についてわからないことがありましたら、調査員に質問してください。  
○ご記入いただいた「アンケート用紙(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。  
郵送等は受け付けておりません。  
○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知り  
えた内容の秘密保持については、必ず厳守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ライトスタッフ  
〈お問い合わせ先〉 〒910-0019 福井市春山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3F  
TEL:0776-25-7201  
〈調査費元元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
TEL:0776-20-0421

調査の種類	市町番号	区分	調査員氏名
基・秋・冬		1. 郡部 2. 山部 3. その他	

(フリガナ) 世帯主名	連絡先
住所	記入者

**農産(家庭菜園を含む)についてお聞きします。**

**問1 農産(家庭菜園を含む)を行っていますか。**  
①はい(→問3へ) ②いいえ(→問2へ)

**問2 今後、農産(家庭菜園を含む)を行う予定はありますか。**  
①農産を始める予定がある ②家庭菜園を始める予定がある ③機会があれば農産をやってみたい  
④機会があれば家庭菜園をやってみたい ⑤行うつりはない

**問3 問1で①はいと答えた方、特に家庭菜園について、その面積を記入してください。**  
( m<sup>2</sup> )

**問4 家庭菜園を行っている理由をお答えください(最もよくあてはまるもの一つに○)**  
①趣味(余暇の楽しみ) ②健康のため(体を動かすなど) ③土いじりをしてると心が癒されるから  
④安全な農作物を食べたいから ⑤食べた人、送った人が喜ぶから ⑥その他

**あなたが昨年1年別(平成20年1月～12月)に生産した農特水産物(農産物を含む)について  
品目ごとの生産量、販売額、出荷先をご記入ください。**

品目	生産量 (kg)	出荷先 (知人のおすそ分け・自家消費を含む)		販売額 (円)
		出荷量 (kg)		
米	0.110.8.8			
小麦(小麦)	0.110.0.6			
大豆	0.402.4			
そば	0.112.2			
( )				
( )				

品目	生産量 (kg)	出荷先 (知人のおすそ分け・自家消費を含む)		販売額 (円)
		出荷量 (kg)		
だいこん	0.613.2			
にんじん	0.621.2			
はくさい	0.623.3			
キャベツ	0.606.1			
ほうれんそう	0.626.7			

品目	生産量 (kg)	出荷先 (知人のおすそ分け・自家消費を含む)		販売額 (円)
		出荷量 (kg)		
ねぎ	0.622.6			
なす	0.619.1			
トマト	0.618.2			
きゅうり	0.606.5			
かぼちゃ	0.604.6			
ピーマン	0.624.5			
ぱいしよ (じゃがいも)	0.201.7			
さといも	0.201.0			
たまねぎ	0.615.3			
すいか	0.707.7			
メロン	0.713.4			
らっきょう	0.630.5			
( )				
( )				
( )				
( )				
( )				
( )				
( )				
( )				
( )				
( )				

## ③食生活に関するアンケート

## 食生活に関するアンケート

「食生活に関するアンケート」では、普段の食生活や、食育、地産地消についてお聞きし、市民の皆様への食に関する考え方を調査いたします。

## 記入上の注意および提出について

- アミメケ部分は何も記入しないでください。
- 記入方法についてわからないことがありましたら、調査員に質問してください。
- ご記入いただいた「アンケート用紙(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。郵送等は受け付けておりません。

- ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしませんので、ありのままお答えください。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず厳守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ライトスタッフ  
 (お問い合わせ先) 〒910-0019 福井市曹山1丁目1-14 福井新開さくら通りビル3F  
 TEL:0776-26-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
 〒910-8580 福井市大幸3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

			調査員氏名	
調査の種類	市町番号	区分	整理番号	抽出単位番号
夏・秋・冬		1.津浜部 2.山間部 3.その他		
(フリガナ) 姓 名			連絡先	
住所			記入者	

## あなたの家庭での普段の食生活についてお聞きします。

(単身世帯の方は、ご自身の食生活に置き換えてお答えください)

- 問1** あなたの家庭では、朝食を毎日食べていますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①家族そろってほぼ毎日食べる ②家族の時間帯はバラバラだが、ほぼ毎日食べる  
 ③週の半分以上は食べる ④週に1～2回は食べる ⑤食べない
- 問2** あなたの家庭では、食事の主食にご飯(米)を食べていますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①ほとんどご飯を食べる ②「にぎり」とパンや麺類などが半々 ③ほとんどパンや麺類など  
 ④主食はあまり食べない
- (単身世帯の方は、問5へ)
- 問3** あなたの家庭では、1週間のうち何回、家族全員で食事をしていますか。(朝食、昼食、夕食ごとに、それぞれあてはまるもの一つに○)
- 朝食 ①ほぼ毎日 ②週の半分程度 ③週1～2回 ④ほとんどない  
 ●昼食 ①ほぼ毎日 ②週の半分程度 ③週1～2回 ④ほとんどない  
 ●夕食 ①ほぼ毎日 ②週の半分程度 ③週1～2回 ④ほとんどない
- 問4** あなたの家庭では、家族や仲間と、健康や食生活について話し合ったり考えたりすることはありますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①よくある ②ときどきある ③ほとんどない
- 問5** あなたの家庭では、普段の食卓でご飯やパンなどの主食以外に、おかず(副食)は何種類くらいありますか。(朝食、夕食ごとに、それぞれあてはまるもの一つに○)
- 朝食 ①0～2種類 ②3～4種類 ③5種類以上  
 ●夕食 ①0～2種類 ②3～4種類 ③5種類以上
- 問6** あなたの家庭では、どちらかといえば和食・洋食・中華のどれが中心ですか。(近いものをお答えください。あてはまるもの一つに○)
- ①和食中心である ②洋食中心である ③中華が中心である ④いずれもいえない
- 問7** あなたが住んでいる地域の農産物を使った郷土料理や伝承料理を知っていますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①よく知っている(5種類以上) ②少し知っている(2～4種類) ③ほとんど知らない(0～1種類)
- 問8** あなたの家庭では、食事の中心に郷土料理を取り入れて食べていますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①季節ごとによく食べる ②ときどき食べる ③ほとんど食べない
- 問9** あなたの家庭では、食事のとき、食べ残しをしないよう心がけていますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①いつも心がけている ②ときどき心がけている ③あまり気にかけていない  
 ④まったく気にかけていない

## 地産地消についてお聞きします。

「地産地消(ちさんちしょう)」とは、

- ・地域で生産された農林水産物を、その地域で消費することを表します。地産地消のメリットとして、
- ・生産者との距離が近く、新鮮な食材を食べることが出来る
- ・地域の身近な食材を通して、食材の旬や産地について理解を深められる
- ・郷土食や行事食など地域独自の食文化を見直すきっかけになる
- ・などが挙げられ、自給率向上や生産振興、食育を進める上でも重要な取り組みとなっています。

- 問10** あなたは、この調査に協力する以前から「地産地消」という言葉を知っていましたか。(あてはまるもの一つに○)
- ①言葉も意味も知っていた ②聞いたことはあるが、意味までは知らなかった  
 ③全く知らなかった
- 問11** あなたの家庭では食材を購入する際、産地にこだわって購入していますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①できるだけ地元産(福井県産)にこだわって購入する(→問12へ)  
 ②できるだけ産地にはこだわっているが、地元産(福井県産)は問わない(→問13へ)  
 ③特に、国産や産地にはこだわっていない(→問13へ)
- 問12** (問11で①と答えた方にお聞きします)福井県産を優先する理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)
- ①新鮮だから ②安全で安心できる(と思う)から ③価格が安いから  
 ④おいしいから ⑤伝統野菜があるから ⑥地域の農地保全や農業振興につながるから  
 ⑦その他( )
- 問13** あなたは、福井県内でどんな農林水産物がいつ収穫されるか分かりますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①よく分かる ②だいたい分かる ③あまり分からない ④全く分からない
- 問14** 福井県では、「ふくい産でふくいの日」という地産地消を推進する県民運動として、毎月第3日曜日を「ふくむ・土・日」として「ふくい産の日」としています。あなたは、このことを知っていますか。(あてはまるもの一つに○)
- ①知っている ②名前だけは聞いたことがある ③知らない
- 問15** あなたの家庭では、この調査に協力したことで、食を選択する姿勢が変わりましたか。(あてはまるものすべてに○)
- ①地元産の食材を購入するようになった ②産地を確認するようになった  
 ③購入先に気を配るようになった ④食材の購入量に気を配るようになった  
 ⑤食べ残しに気を配るようになった ⑥家庭食が多くなった  
 ⑦特に変わらない ⑧その他( )

食育についてお聞きします。

食の知識や選択するかなどを通して豊かな食生活を送る能力を高め、心身ともに健やかな人間を育てようという「食育」。これを日本で最初に唱えたのが福井出身の明治時代の医師・石塚在吉で、平成17年に成立した「食育基本法」という法律にもこの考えは活かされています。人々の食生活が多様化し、経済のグローバル化、食の安全・安心などに関心が高まっている中、「食育」の推進が求められています。

問16 あなたは、食育に関心がありますか。(あてはまるもの一つに○)

- ①大変関心がある
- ②ある程度関心がある
- ③あまり関心がない
- ④まったく関心がない

問17 あなたの周囲では、日頃から、健全な食生活を行うために「食育」に関する何らかの活動や行動をしていますか。(あてはまるもの一つに○)

- ①頻繁にしている
- ②ときどきしている
- ③あまりしていない
- ④する気はあるが、していない
- ⑤していないし、する気もない

食育に関する活動例

- 栄養バランスのとれた食生活の実践
- より安全な食品の購入
- 農業体験・加工活動への参加・体験
- 食に関する伝習行事への参加
- 食生活の改善に関する勉強会への参加
- 食に関わるボランティア活動への参加
- 食料自給率状況に関する理解の向上

食事バランスガイドについてお聞きします。

「食事バランスガイド」は、食生活改善も具体的な行動に結び付けられるものとして、食事の量(人)を高めず、世帯もよその量をわかりやすくイラストで示したものです。平成17年6月に農林水産省と厚生労働省により決定されました。



問18 あなたは、食事バランスガイドをご存知ですか。(あてはまるもの一つに○)

- ①内容を全て知っている(→問19へ)
- ②名前程度は聞いたことがある(→問20へ)
- ③初めはなかった(→問21へ)

問19 (問18で①と答えたかにお聞きします)あなたは野菜や果物の際、「食事バランスガイド」を参考にしていますか。(あてはまるもの一つに○)

- ①いつも参考にしています
- ②時々参考にしています
- ③あまり参考にしていない
- ④まったく参考にしていない

④

⑤

「ふくいの伝統野菜」についてお聞きします。

近年、加賀野菜や京野菜などが注目されていますが、福井県にも「奥越のサトイモ」や「ラッキョウ」、「福井種」などに代表されるように、代々受け継がれてきた伝統的な作物があります。しかし、こうした作物は、農家の高齢化などによって存続の危機にあるものも少なくありません。県内各地に伝わる伝統料理の素材等としてふるさと福井の食文化を支えてきたこれらの伝統野菜を、生産者と消費者の理解のもと存続させる活動が望まれています。

問20 あなたは、次のふくいの伝統野菜を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ①河内赤カブ ②穴馬カブ ③黒カブ ④古田刈カブ ⑤板垣ダイコン
- ⑥吉川ナス ⑦妙金ナス ⑧新保ナス ⑨立石ナス ⑩ラッキョウ ⑪谷田部ネギ
- ⑫明里ネギ ⑬奥越のサトイモ ⑭越前白茎オボク ⑮木田ナリメンジソ
- ⑯勝山水菜 ⑰マナ ⑱4月菜 ⑲家おけ ⑳カタクリ ㉑カブスカリ

問21 次のふくいの伝統野菜で、実際に食べた事があるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- ①河内赤カブ ②穴馬カブ ③黒カブ ④古田刈カブ ⑤板垣ダイコン
- ⑥吉川ナス ⑦妙金ナス ⑧新保ナス ⑨立石ナス ⑩ラッキョウ ⑪谷田部ネギ
- ⑫明里ネギ ⑬奥越のサトイモ ⑭越前白茎オボク ⑮木田ナリメンジソ
- ⑯勝山水菜 ⑰マナ ⑱4月菜 ⑲家おけ ⑳カタクリ ㉑カブスカリ

「米粉(こめこ)」についてお聞きします。

ごはんを中心としたバランスの良い日本型食生活を支えている「お米」。米は国内で自給できる数少ない農産物で、農地を保全する等の大切な役割を果たしていますが、消費量は年々減少しています。そこで注目されているのが、米をひいて粉にした「米粉」です。古くから、ちまきや団子などに利用されてきましたが、製粉技術の進歩により、パンやケーキ、麺類など、様々な食品や料理への活用が広がっています。

問22 あなたは、「米粉」のことを知っていましたか。(あてはまるもの一つに○)

- ①使い方も全て知っていた
- ②名前程度は聞いたことがあった(見たことはあった)
- ③知らなかった



問23 あなたは、「米粉」を使ったことがありますか。(あてはまるもの一つに○)

- ①河田も使ったことがある
- ②家庭使ったことがある
- ③使いたいと思ってるが、使ったことはない
- ④使いたいとは思わないし、使ったことはない

食生活や産地情報についてのご意見・ご要望もご記入ください。

アンケートにご協力ありがとうございました。

⑥

⑦

④流通・加工調査/JA経済連

地産地消に関する流通・加工調査票

0-1  
福井県経済農業協同組合連合会

「地産地消に関する流通・加工調査」では、昨年(平成20年1月～12月)の農林水産物の仕入量と出荷先、出荷量を記入していただくことにより、県内で流通する農林水産物の種類と量を調査いたします。

記入上の注意および提出について

【重要】

●恐れ入りますが品目ごとの出荷先・出荷量をご確認願います。

- 「調査票の書き方・記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。
- 自榨肉をご記入ください。アミカケ部分は何も記入しないでください。
- 記入方法についてわからないことがありましたら、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、聞き取り、回収いたします。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず厳守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ライトスタッフ  
 〒910-0019 福井市青山1丁目1-14 福井新開さくら通りビル3F  
 TEL:0776-26-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

●基本情報

名称		部署名	
住所			
TEL		記入者	

昨年1年間の品目ごとの仕入量および出荷量についてお聞きします。

品目	仕入量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
穀物					
米	0110188				
麦	0110006				
大豆	044023				
そば	011128				
( )					
( )					

品目	仕入量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
穀物					
( )					
( )					
( )					
( )					
( )					

品目	総仕入数量		出荷先(都道府県名)	出荷量	
	数量	単位		数量	単位
野菜	だいこん	0:6:1:3:2			
	にんじん	0:6:2:1:2			
	はくさい	0:6:2:3:3			
	キャベツ	0:6:0:6:1			
	ほうれんそう	0:6:2:6:7			
	ねぎ	0:6:2:2:6			

品目	総仕入数量		出荷先(都道府県名)	出荷量	
	数量	単位		数量	単位
野菜	なす	0:6:1:9:1			
	トマト	0:6:1:8:2			
	きゅうり	0:6:0:6:5			
	かぼちゃ	0:6:0:4:6			
	ピーマン	0:6:2:4:5			
	ばれいしょ (じゃがいも)	0:2:0:1:7			

品目	総仕入数量		出荷先(都道府県名)	出荷量	
	数量	単位		数量	単位
野菜	さといも	0:2:0:1:0			
	たまねぎ	0:6:1:5:3			
	ずいか	0:7:0:7:7			
	メロン	0:7:1:3:4			
	らっきょう	0:6:3:0:5			
	( )				

品目	総仕入数量		出荷先(都道府県名)	出荷量	
	数量	単位		数量	単位
野菜	( )				
	( )				
	( )				
	( )				
	( )				
	( )				



果樹	品目	総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
	柿	070119				
柿	070419					
梨	070888					
( )						
( )						
( )						

果樹	品目	総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
	( )					
( )						
( )						
( )						
( )						

畜産	品目	総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
	牛肉	110330				
豚肉	111115					
鶏肉	112221					
牛乳	130001					
鶏卵	120004					
( )						

畜産	品目	総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
	( )					
( )						
( )						
( )						
( )						

品目		総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
林産	しいたけ	080111				
	なめこ	080210				
	ひらたけ	080218				
	えのき	080011				
	( )					
	( )					

品目		総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
林産	( )					
	( )					
	( )					
	( )					
	( )					
	( )					

[予備]						
品目		総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						

[予備]						
品目		総仕入数量	単位	出荷先(都道府県名)	出荷量	単位
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						

⑤流通・加工調査/水産市場(産地・消費)

地産地消に関する流通・加工調査票

①-2  
福井県漁業  
組合連合会  
水産市場

「地産地消に関する流通・加工調査」では、昨年(平成20年1月～12月)の水産物の仕入量と産地の別、および出荷量と県内向け割合を記入していただくことにより、県内で流通する水産物の種類と量を調査いたします。

記入上の注意および提出について

【留意】

●産地別の記入が必要です。仕入れ品目の産地の確認をお願いします。

- 「調査票の書きか・記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。
- 自枠内をご記入ください。アミカケ部分は何も記入しないでください。
- 記入方法についてわからないことがありましたら、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず厳守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ワイトスタッフ  
 〈お問い合わせ先〉 〒910-0019 福井市香山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3F  
 TEL:0776-25-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売課  
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

市町番号	区別	調査対象の種別	調査員氏名
	1.海浜部 2.山間部 3.その他	●	店舗コード

●基本情報

名称	
住所	
TEL	記入者

以下の問いに、あてはまるものを○をつけてください。

- 問1 露宿台・市場では、県内産の水産物を扱っていますか、または扱ったことがありますか。  
 ①はい(→問2へ) ②いいえ(→問3へ)
- 問2 次のことについて、県内水産物を納入している生産者や業者と意見交換をしていますか。(あてはまるものを全てに○)  
 ①生産量 ②品質の向上 ③価格 ④仕入方法 ⑤意見交換していない  
 ⑥その他( )
- 問3 県内産の水産物の取り扱いを増やしたいと思いませんか。  
 ①大幅に増やしたい ②少しずつ増やしたい ③現状維持 ④減らしたい
- 問4 農林水産物の生産はコスト高により厳しい環境にありますが、県内産の水産物の取扱いを、今後(さらに)増やしていくのに特に必要なことは何だとお考えですか？(あてはまるものを3つに○)  
 ①価格努力 ②味の向上 ③規格の統一 ④安全性の向上 ⑤消費者の理解  
 ⑥PRや販売促進への公的支援 ⑦一般の方への表示方法の工夫  
 ⑧その他( )

地産地消に関してご意見がございましたら自由に記入ください。

昨年1年間(平成20年1月～12月)の商品ごとの仕入量および出荷量についてお聞きします。

品目	仕入 数量 単位	産地別(割合)			出荷 数量 単位	うち県内向 割合		%
		県内 産 (%)	県外 産 (%)	国外 産 (%)		割合	%	
あじ類	1:0:0:0:3							
ぶり類	1:0:2:4:1							
かれい類	1:0:1:0:0							
さわら類	1:0:1:7:1							
さば類	1:0:1:5:4							
ずるめいか	1:0:3:4:5							
いか類	1:0:3:4:8							
えび類	1:0:3:2:9							
とひうお	1:0:2:1:5							

品目	仕入 数量 単位	産地別(割合)			出荷 数量 単位	うち県内向 割合		%
		県内 産 (%)	県外 産 (%)	国外 産 (%)		割合	%	
貝類	1:0:2:8:1							
はたはた	1:0:2:2:8							
たい類	1:0:1:9:0							
ずわいかに	1:0:3:3:5							
ふく類	1:0:2:3:8							
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								
( )								

⑥流通・加工調査/青果市場

品目	仕入数量 単位	産地別(割合) 国内産 (%)	国外産 (%)	国内産 (%)	輸出数量 単位	うち県内向け割合	%
柿	070:19						
柿	070:49						
梨	070:88						
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
しいたけ	080:11						
なめこ	080:20						
ひらたけ	080:26						
えのき	080:01						
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							

## 地産地消に関する流通・加工調査票

**①-3**  
 青果市場

「地産地消に関する流通・加工調査」では、昨年(平成20年1月～12月)の農産物の仕入量と産地の別、および出荷量と県内向け割合を記入いただくことにより、県内で流通する農産物の種類と量を調査いたします。

記入上の注意および提出について

**【重要】**

●産地別の記入が必要です。仕入れ品目の産地の確認をお願いします。

○「調査票の書き方・記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。  
 ○白枠内をご記入ください。アミメケセン等は併記しないでください。  
 ○記入方法についてわからないことがありましたら、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。  
 ○ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず厳守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ワイトスタッフ  
 〒910-0019 福井市曹山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3F  
 TEL:0776-26-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

市町番号	区別	調査対象の種類	調査員氏名
	1.海浜部 2.山麓部 3.その他	●	

●基本情報

以下の問いに、あてはまるものに○をつけてください。

問1 青果市場では、県内産の農産物を扱っていますか、または扱ったことがありますか。  
 ①はい(→問2へ) ②いいえ(→問3へ)

問2 次のことについて、県内農産物を納入している生産者や業者と取引交換をしていますか。(あてはまるものを全てに○)  
 ①生産量 ②品質の向上 ③価格 ④仕入方法 ⑤意見交換していない ⑥その他( )

問3 県内産の農産物の取り扱いを増やしていきたいと思いませんか。  
 ①大幅に増やしたい ②少しずつ増やしたい ③現状維持 ④減らしたい

問4 農林水産物の生産はコスト面により難しい環境にあります。県内産の農産物の取扱いを、今後(さらに)増やしていくために特に必要なことは何とお考えですか。(あてはまるもの3つまでに○)  
 ①価格努力 ②味の向上 ③規格の統一 ④安全性の向上 ⑤消費者の理解  
 ⑥PRや販売促進への公的支援 ⑦一般の方への表示方法の工夫 ⑧その他( )

地産地消に関してご意見がございましたら自由に記入ください。

昨年1年間の品目ごとの仕入量および出荷量についてお聞かせします。

品目	仕入数量 単位	産地別(割合) 国内産 (%)	国外産 (%)	国内産 (%)	出荷数量 単位	うち県内向け割合	%
だいこん	061:13:12						
にんじん	062:11:2						
はくさい	062:3:3						
キャベツ	060:6:1						
ほうれんそう	062:6:7						
ねぎ	062:2:6						
なす	061:9:1						
トマト	061:18:2						
きゅうり	060:6:5						

品目	仕入数量 単位	産地別(割合) 国内産 (%)	国外産 (%)	国内産 (%)	輸出数量 単位	うち県内向け割合	%
かぼちゃ	060:4:6						
ピーマン	062:4:5						
ぱれいしょ(じゃがいも)	020:1:7						
さといも	020:1:0						
たまねぎ	061:5:3						
ずいか	070:7:7						
メロン	071:3:4						
らっきょう	063:0:5						
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							

⑦流通・加工調査/水産市場・仲買人

地産地消に関する流通・加工調査票 ②漁港市場の仲買人

〔地産地消に関する流通・加工調査〕では、昨年(平成20年1月~12月)の水産物の仕入量と産地の別、および県内向けの出荷量を記入していただくことにより、県内で流通する水産物の種類と量を調査いたします。

記入上の注意および提出について

【重要】

●産地別の記入が必要です。仕入れ品目の産地の確認をお願いします。

- 「調査票の書き方・記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。
- 自持内をご記入ください。アミカケ部分は可も記入しないでください。
- 記入方法についてわからないことがありましたら、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず厳守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ライトスタッフ  
 〒910-0019 福井市豊山1丁目1-14 福井新開さくら通りビル3F  
 TEL:0776-26-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

調査員氏名			
形町番号	区別	調査対象の産別	店舗コード
	1.海浜部 2.山間部 3.その他	◎	

●基本情報

名称			
住所			
TEL			記入者

以下の問いに、あてはまるもの一つに○をつけてください。

- 問1 貴社では、県内産の水産物を扱っていますか。または扱ったことがありますか。  
 ①はい(→問2へ) ②いいえ(→問3へ)
- 問2 次のことについて、県内水産物を納入している生産者や業者と意見交換をしていますか。  
 (あてはまるもの全てに○)  
 ①生産量 ②品質の向上 ③価格 ④仕入方法 ⑤意見交換していない  
 ⑥その他( )
- 問3 県内産の水産物の取り扱いを増やしていきたいと思いませんか。  
 ①大幅に増やしたい ②少しずつ増やしたい ③現状維持 ④減らしたい
- 問4 農林水産物の生産はコスト高により厳しい環境にあります。県内産の水産物の取扱いを、今後(さらに)増やしていくために特に必要なことは何とお考えですか？(あてはまるもの3つまでに○)  
 ①価格努力 ②味の向上 ③規格の統一 ④安全性の向上 ⑤消費者の理解  
 ⑥PRや販売促進への公的支援 ⑦一般の方々への表示方法の工夫  
 ⑧その他( )
- 〔 地産地消に関してご意見ございましたら自由にご記入ください。 〕

昨年1年間(平成20年1月~12月)の仕入れ量及び出荷量についてお聞きします。

品目	仕入 数量 (kg)	産地別(割合)			出 荷 量 (kg)	うち県内向 割合 (%)
		県 内 産 (%)	県 外 産 (%)	国 外 産 (%)		
1 あじ類	1,010,035					
2 ふり類	1,024,111					
3 かれい類	1,011,000					
4 さわかき類	1,011,771					
5 さば類	1,011,564					
6 すまめいか	1,034,345					
7 いり類	1,034,498					

品目	総 仕 入 量 (kg)	産地別(割合)			出 荷 量 (kg)	うち県内向 割合 (%)
		県 内 産 (%)	県 外 産 (%)	国 外 産 (%)		
8 えび類	1,033,299					
9 とひうお	1,022,125					
10 貝類	1,022,211					
11 はたはた	1,022,288					
12 たい類	1,011,910					
13 ずわいがに	1,033,325					
14 ふぐ類	1,022,366					
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						

⑧流通・加工調査/コンビニエンスストアと小売業

### 地産地消に関する流通・加工調査票

⑧コンビニエンスストア

「地産地消に関する流通・加工調査」では、昨年(平成20年1月～12月)の農林水産物の仕入量と販売量および産地の別、主要加工品ごとの販売量、品目ごとの使用量を記入していただくことにより、県内で流通する農林水産物の種類と量を調査いたします。

---

**記入上の注意および提出について**

【重要】  
 ●産地別の記入が必要です。仕入れ品目の産地の確認をお願いします。

○「調査票の書き方・記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。  
 ○自枠内をご記入ください。アミカゲ部分は何も記入しないでください。  
 ○記入方法についてわからないことがありましたら、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。  
 ○ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、調査員が訪問のうえ、回収いたします。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず遵守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ワイトスタッフ  
 〈提出先〉 〒910-0019 福井市青山1丁目1-14 福井新築さくら通りビル3F  
 (お問い合わせ先) TEL:0776-25-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

			調査員氏名
市町番号	区別	調査対象の種類	店舗コード
	1.海浜部 2.山部部 3.その他	⑧	

●基本情報

名称	業種
住所	
TEL	記入者

### 地産地消に関する流通・加工調査票

⑨常設販売所  
 ⑩小売店・量販店・百貨店・総合スーパー

「地産地消に関する流通・加工調査」では、昨年(平成20年1月～12月)の農林水産物の仕入量と販売量および産地の別、主要加工品ごとの販売量、品目ごとの使用量を記入していただくことにより、県内で流通する農林水産物の種類と量を調査いたします。

---

**記入上の注意および提出について**

【重要】  
 ●産地別の記入が必要です。仕入れ品目の産地の確認をお願いします。

○「調査票の書き方・記入例」をよくお読みの上、黒鉛筆で記入して下さい。  
 ○自枠内をご記入ください。アミカゲ部分は何も記入しないでください。  
 ○記入方法についてわからないことがありましたら、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。  
 ○ご記入いただいた「調査票(本用紙)」は、記入漏れがないか確認の上、下記の提出先まで11月2日(月)までに郵送ください。

○ご回答いただいた「調査内容」は、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査によって知りえた内容の秘密保持については、必ず遵守いたします。

〈調査実施機関〉 株式会社ワイトスタッフ  
 〈提出先〉 〒910-0019 福井市青山1丁目1-14 福井新築さくら通りビル3F  
 (お問い合わせ先) TEL:0776-25-7201

〈調査委託元〉 福井県農林水産部販売開拓課  
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 TEL:0776-20-0421

			調査員氏名
市町番号	区別	調査対象の種類	店舗コード
	1.海浜部 2.山部部 3.その他	⑩	

●基本情報

名称	業種
住所	
TEL	記入者

以下の問いに、あてはまるものに○をつけてください。

問1 貴店(社)では、県内産の農林水産物を扱っていますか。または扱ったことがありますか。  
 ①はい(一問2へ) ②いいえ(一問4へ)

問2 県内産の農林水産物を扱っていることを、お客さんにお知らせしていますか。また、どんな方法で行っていますか。(あてはまるもの全てに○)  
 ①店内の掲示 ②商品に表示 ③ホームページで表示 ④店員による声かけ  
 ⑤その他の方法で( ) ⑥特に知らせていない

問3 県内農林水産物を提供している生産者や業者と見直し交換をしていますか。(あてはまるもの全てに○)  
 ①農作物の育成 ②メニューの検討 ③納入額や方法 ④意見交換していない  
 ⑤その他( )

問4 県内産の農林水産物の取り扱いを増やしていきたいと思いませんか。  
 ①大幅に増やしたい ②少しずつ増やしたい ③現状維持 ④減らしたい

問5 農林水産物の生産はコスト高により厳しい環境にありますか。県内産の農林水産物の取扱いを、今後(さらに)増やしていくために特に必要なことは何とお考えですか？(あてはまるもの3つまでに○)  
 ①価格努力 ②味の向上 ③規格の統一 ④安全性の向上 ⑤消費者の理解  
 ⑥PRや販売促進への公的支援 ⑦一般の方への表示方法の工夫  
 ⑧その他( )

地産地消に関してご意見がございましたら自由にご記入ください。

昨年1年間の品目ごとの仕入量(販売所の場合には持ち込まれた農林水産物の量)および販売量についてお聞きします。

品目	仕入量 単位	産地別(割合)				販売量 単位	県内以外の 販売割合(%)	廃棄・返品 割合(%)
		県内 産 (%)	県外 産 (%)	国 産 (%)	不 詳 (%)			
米	011088							
麦	011006							
乾燥大豆	044023							
ゆで大豆	044024							
そば	011128							
そば粉	011122							
( )								
( )								
( )								

品目	仕入量 単位	産地別(割合)				販売量 単位	県内以外の 販売割合(%)	廃棄・返品 割合(%)
		県内 産 (%)	県外 産 (%)	国 産 (%)	不 詳 (%)			
だいこん	061132							
にんじん	062112							
はくさい	062333							
キャベツ	060161							
ほうれんそう	062167							
ねぎ	062226							
なす	061191							
トマト	061182							
きゅうり	060165							
かぼちゃ	060146							
ピーマン	062245							
はれいしょ (じゃがいも)	020117							
さといも	020110							
たまねぎ	061163							
ずいか	077077							
メロン	071134							
らっきょう	063105							
( )								
( )								
( )								
( )								

品目	仕入数量 単位	産地別(割合)				販売量 単位	産棄・売品の割合(%)
		県内産 (%)	県外産 (%)	国産 (%)	不詳 (%)		
梅	077019						
柿	077049						
梨	077088						
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
畜産							
牛肉	111030						
豚肉	111115						
鶏肉	111221						
牛乳	113001						
鶏卵	112004						
( )							
( )							
特産							
しいたけ	080011						
なめこ	080020						
ひらたけ	080026						
えのき	080001						
( )							
( )							

①

品目	仕入数量 単位	産地別(割合)				販売量 単位	産棄・売品の割合(%)
		県内産 (%)	県外産 (%)	国産 (%)	不詳 (%)		
水産							
あじ類	100003						
ぶり類	100241						
かじり類	100100						
さむら類	100171						
さば類	100154						
すみめいか	100345						
いか類	100348						
えび類	100329						
とひうお	100215						
貝類	100281						
はたはた	100228						
たい類	100190						
ずわいがに	100335						
ふく類	100235						
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							
( )							

②

自店で生産した加工品(お総菜含む)の農産品使用状況についてお聞かせします。  
※聞きたくない場合はコピーしてお使いください。

●昨年1年間の自店で生産した加工品の総生産量と原料(県産農林水産品)の内訳

加工品の総生産量		kg	
加工品に使用した農産品の品目	仕入量 単位	加工品に使用した農産品の品目	仕入量 単位

③

加工品に使用した農産品の品目	仕入量 単位	加工品に使用した農産品の品目	仕入量 単位

④

●農林水産物を使用した自家生産の加工品のうち主な商品の状況について(売上点数で上位5つを記入)、一つの商品ごとの重量等をお答えください。

No.	商品名	使用品目	使用量 単位	産地別(割合)			
				県内産 (%)	県外産 (%)	国外産 (%)	不明 (%)

⑧

商品として仕入れた加工品(お総菜を含む)の県産使用状況についてお聞きします。  
※書ききれない場合はコピーしてお使いください。

●昨年1年間の仕入れ加工品の総仕入量と原料(県産農林水産品)の内訳

仕入れ加工品の総量		kg	

⑨

加工品の仕入品目	県産品割合 (%)	加工品の仕入品目	県産品割合 (%)

⑩

●県産農林水産物を使用した仕入れ加工品のうち主な商品の状況について(売上点数で上位5つを記入)、一つの商品ごとの生産事業所の所在地をお答えください。

No.	商品名	使用品目	生産事業所の所在地 (○をつけてください)			
			県内	県外	国外	不明

⑪







## 2. 家計調査にみる家庭菜園の都道府県別傾向

### ●都道府県庁所在地別 1カ月の1世帯あたり自家産物 金額換算(平成18~20年・総世帯)

No.	都市名	平成20年					平成19年		平成18年		過去3年平均	
		集計世帯数	現物(※)総額	うち食料	うち自家産物(順位)	(参考)自家産物/現物	うち自家産物(順位)	うち自家産物(順位)	うち自家産物(順位)	うち自家産物(順位)	うち自家産物(順位)	
	人口5万以上の市	7,995	7,430	5,389	290	4%	232		216		246	
1	札幌市	104	4,492	3,393	77 (43)	2%	69 (41)		53 (43)		66 (44)	
2	青森市	103	5,844	4,820	240 (20)	4%	296 (15)		356 (8)		297 (10)	
3	盛岡市	102	8,430	7,097	464 (6)	6%	220 (22)		215 (18)		299 (13)	
4	仙台市	108	6,034	5,119	214 (25)	4%	105 (34)		71 (41)		130 (35)	
5	秋田市	103	9,014	7,250	288 (16)	3%	328 (11)		157 (28)		257 (19)	
6	山形市	103	8,643	6,017	341 (11)	4%	313 (13)		180 (24)		278 (15)	
7	福島市	102	9,641	8,054	451 (7)	5%	165 (30)		264 (14)		293 (18)	
8	水戸市	102	8,908	6,662	234 (21)	3%	232 (20)		121 (34)		195 (27)	
9	宇都宮市	103	11,499	6,433	182 (31)	2%	347 (8)		211 (19)		246 (21)	
10	前橋市	101	5,310	4,391	314 (13)	6%	319 (12)		114 (35)		249 (22)	
11	さいたま市	102	6,064	3,746	180 (32)	3%	86 (37)		68 (42)		111 (38)	
12	千葉市	107	3,438	2,671	73 (45)	2%	83 (39)		129 (31)		95 (39)	
13	東京都区部	410	6,007	4,395	63 (46)	1%	37 (44)		32 (46)		44 (46)	
14	横浜市	155	4,845	3,438	87 (40)	2%	35 (45)		93 (39)		71 (42)	
15	新潟市	103	7,368	6,064	159 (33)	2%	79 (40)		211 (20)		149 (32)	
16	富山市	103	7,291	5,490	188 (30)	3%	296 (16)		211 (21)		231 (25)	
17	金沢市	103	9,198	5,723	269 (19)	3%	475 (2)		403 (7)		382 (5)	
18	福井市	102	7,239	5,706	811 (1)	11%	461 (3)		666 (2)		646 (1)	
19	甲府市	101	8,353	6,890	300 (15)	4%	251 (18)		466 (6)		339 (8)	
20	長野市	101	10,563	8,326	785 (2)	7%	482 (1)		640 (3)		635 (1)	
21	岐阜市	103	7,126	4,662	407 (9)	6%	344 (9)		240 (16)		330 (7)	
22	静岡市	104	7,701	4,324	149 (34)	2%	131 (32)		140 (30)		140 (33)	
23	名古屋市	147	7,271	5,055	76 (44)	1%	93 (36)		48 (44)		72 (42)	
24	津市	97	8,365	6,422	368 (10)	4%	355 (7)		182 (23)		301 (9)	
25	大津市	101	5,861	4,456	272 (18)	5%	231 (21)		272 (11)		258 (17)	
26	京都市	101	5,104	3,953	79 (42)	2%	100 (35)		104 (38)		94 (39)	
27	大阪市	175	6,151	4,373	41 (47)	1%	42 (43)		14 (47)		32 (47)	
28	神戸市	105	4,590	3,163	92 (39)	2%	33 (46)		113 (36)		79 (41)	
29	奈良市	103	8,641	5,417	309 (14)	4%	205 (24)		219 (17)		244 (19)	
30	和歌山市	98	6,453	5,487	332 (12)	5%	174 (27)		592 (4)		366 (10)	
31	鳥取市	101	7,853	5,484	528 (3)	7%	300 (14)		555 (5)		461 (4)	
32	松江市	102	6,500	4,952	524 (4)	8%	454 (4)		211 (22)		396 (6)	
33	岡山市	93	7,193	4,986	496 (5)	7%	446 (5)		775 (1)		572 (3)	
34	広島市	103	5,917	4,056	213 (26)	4%	202 (25)		268 (12)		227 (24)	
35	山口市	102	7,226	5,759	197 (28)	3%	402 (6)		303 (10)		300 (12)	
36	徳島市	102	9,073	6,924	288 (17)	3%	278 (17)		265 (13)		277 (14)	
37	高松市	103	8,553	6,177	233 (22)	3%	191 (26)		126 (33)		183 (29)	
38	松山市	102	8,414	6,671	428 (8)	5%	157 (31)		344 (9)		309 (15)	
39	高知市	102	7,155	4,939	194 (29)	3%	168 (29)		127 (32)		163 (31)	
40	福岡市	106	7,397	5,201	98 (38)	1%	214 (23)		163 (27)		158 (30)	
41	佐賀市	102	6,408	4,652	216 (24)	3%	62 (42)		87 (40)		121 (37)	
42	長崎市	101	5,867	4,470	115 (36)	2%	85 (38)		178 (25)		126 (34)	
43	熊本市	103	9,302	6,538	120 (35)	1%	129 (33)		106 (37)		118 (36)	
44	大分市	103	7,201	4,585	202 (27)	3%	235 (19)		168 (26)		201 (26)	
45	宮崎市	100	8,311	4,657	223 (23)	3%	174 (28)		148 (29)		181 (28)	
46	鹿児島市	101	12,117	7,674	100 (37)	1%	344 (10)		248 (15)		230 (23)	
47	那覇市	177	4,568	3,692	87 (41)	2%	28 (47)		47 (45)		54 (45)	

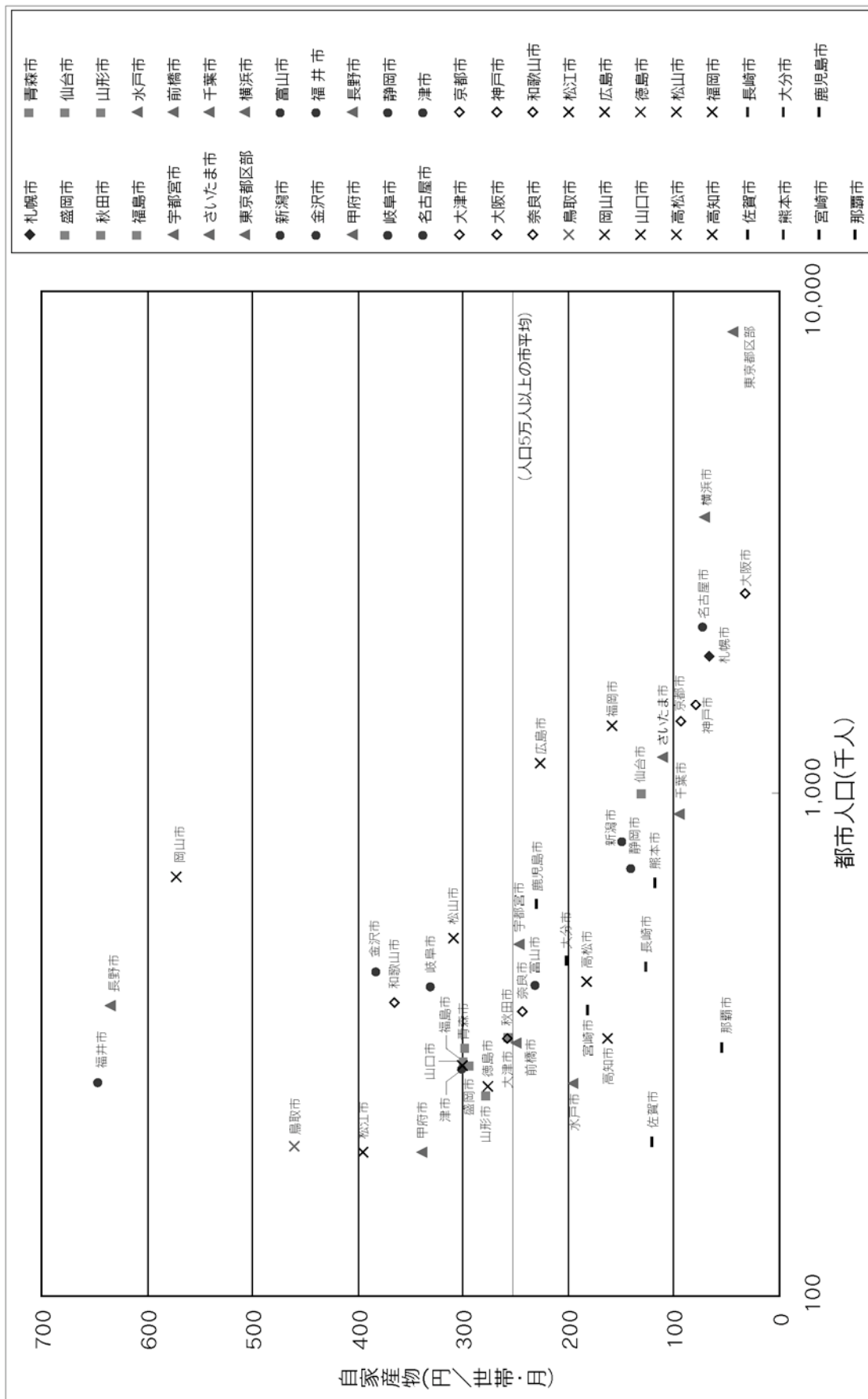
出典：家計調査年報

※「現物」とは、外部からのもらい物、自家菜園の産物などである。

なお、購入金額の一部を勤務先または他人が負担しているために安い金額で購入した場合も、その負担された分を現物として取り扱う。

※3年平均の順位は、3年間の順位を合計した数字と比較した。

●平成18～20年の自家産物平均額と都市人口の相関図



### 3.調査の用語説明

#### 「自産自消」

家庭菜園やおすそ分けなど、購入以外による農林水産物の入手について、福井県立大学の祖田学長のお言葉をお借りして、「自産自消」と称する。地産地消の一行動様式として相当量あると考えられることから、これを特に位置づけた。

#### 「家庭食」

「家庭食」とは、購入または自給等により入手した農林水産物または未調理の加工品を、家庭で調理したものを指す。

したがって、調理の結果、家庭内で食されたものはもちろん、家庭外で食した手作り弁当等も含むものとする。

#### 「総菜」

「総菜」とは、購入またはもらいもの等によって入手した調理済の食品を、家庭において食したものを指す。

#### 「外食」

「外食」とは、飲食店や購入等によって、調理済みの料理・食品を、家庭外において食したものを指す。したがって、コンビニエンスストア等でおにぎりを購入して、家庭外で食した場合は「外食」とし、家庭で食べた場合は「総菜」に分類した。

#### ※「総菜」と「外食」の原材料、重量および産地別の推計方法

消費世帯調査において、総菜および外食における数量の回答で、原材料、数量および産地の不明なものについては、下記のとおり推計した。

- ① 原材料および数量：五訂増補「食品成分表」、厚生労働省国民健康栄養調査「食品番号表」における総菜および外食の1食あたりの標準的な原材料および重量による。  
それでも不明な場合は、仁愛女子短期大学 牧野みゆき准教授(福井県地産地消率検討委員会委員)より、栄養学の見地から助言をいただき、標準的な原材料および重量の算定を行った。
- ② 産 地 の 別：総菜および外食の購入先に応じて、今回調査した青果市場、水産市場(消費)、流通・加工調査および飲食店・福祉施設調査、平成21年度学校給食産地別使用量調査(福井県)により、各業種別、品目別の仕入量に占める県内、県外、国外、不明の割合を採用した。

※なお、全ての調査の食材について、数量は小数点第1位、割合(%)は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計とは一致しないことがある。

## 4. 参考資料一覧

五訂増補日本標準食品成分表(文部科学省科学技術・学術審議会・資源調査分科会)  
平成19年度、平成20年度食料需給表(農林水産省大臣官房食料安全保障課)  
国民健康栄養調査 食品番号表(厚生労働省)  
由田克士、荒井裕介、野末みほ:食事しらべ2009. 独立行政法人国立健康・栄養研究所  
栄養疫学プログラム 国民健康・栄養調査プロジェクト  
福井県農林水産統計年報(平成19年～21年)(福井県農林統計協会)  
福井県農林漁業の動き(平成20年度版)(平成21年度版)(福井県農林水産部)  
平成19年産野菜生産出荷統計(農林水産省大臣官房統計部)  
平成16年果樹生産出荷統計(農林水産省大臣官房統計部)  
平成20年特用林産基礎資料(林野庁)  
平成21年度学校給食産地別使用量調査(福井県農林水産部販売開拓課)  
平成18年事業所・企業統計調査(総務省)  
平成18年～20年 家計調査年報(総務省)  
地産地消の実態及び推進効果の把握に関する調査研究事業報告書(財団法人 都市農山漁村交流活性化機構)  
基礎調理実習(建帛社)  
一品料理500選(医歯薬出版)  
国民栄養調査「外食」  
市販加工食品成分表(女子栄養大学出版部)  
主食・主菜・副菜料理成分表(女子栄養大学出版部)  
食品標準成分表  
毎日の食事のカロリーガイドブック(女子栄養大学出版部)  
食品加工学(建帛社)  
新食品加工学(医歯薬出版)  
食品加工シリーズ(農文協)  
最新食品加工講座(建帛社)  
パンの基本大図鑑(講談社)

---

## 福井県地産地消率状況調査事業報告書

平成22年3月

発行・編集 福井県農林水産部販売開拓課  
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
TEL:0776-20-0421  
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/hanbai/index.html>  
E-mail:hanbai@pref.fukui.lg.jp

調査委託 株式会社ライトスタッフ

---